

令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	7	学校名	伊豆総合高等学校	校長名	所 康俊
------	---	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的生活習慣を身に付け、主体的に行動できる生徒の育成。	<p>挨拶、環境美化、時間を守る意識をもった生活ができた生徒90%以上、服装・頭髪のルールを守ることができた生徒90%以上 (学年・生徒・保健)</p> <p>情報モラルを理解してスマートフォン等の情報機器を使用している生徒90%以上 (生徒・学年)</p> <p>健康面の自己管理をし、欠席・遅刻・早退をしない意識で学校生活を送っている生徒90%以上 (教務・生徒)</p> <p>朝食摂取率98%以上、治療勧告の受診率50%以上 (保健)</p> <p>自転車交通事故、年3件以内 (生徒)</p> <p>学校行事を積極的に行う生徒85%以上、部活動が充実し前向きな活動ができている生徒80%以上 (学年・生徒)</p>	<p>挨拶、環境美化、時間を守る意識をもった生活ができた生徒90%以上、服装・頭髪のルールを守ることができた生徒90%以上を達成した。</p> <p>情報モラルを理解してスマートフォン等の情報機器を使用している生徒90%以上を達成した。</p> <p>健康面の自己管理をし、欠席・遅刻・早退をしない意識で学校生活を送っている生徒は87.4%で、概ね達成できた。</p> <p>朝食摂取率82%で、おおむね達成できた。治療勧告の受診率50%以上を達成できた。</p> <p>自転車交通事故は4件発生した。</p> <p>学校行事を積極的に行う生徒90.1%で、部活動に積極的に参加している生徒は80.7%だった。</p>	A	<p>(教務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は端末を安全に留意して活用している。 ・パスワードの管理についての継続的な指導が必要と考える。 <p>(生徒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業やホームルーム等での繰り返しの啓発、全職員による継続的な取り組みができている。 ・生徒会が主体となって規範意識を高める取組みの工夫を継続したい。 ・ネットパトロールから指摘されるような指導はなかった。 ・行事の運営面では生徒会が主体となり、活動することができた。 ・部活動では多くの生徒が積極的に参加している。 ・充実した活動になるように継続して工夫したい。 <p>(保健)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年と同様に治療勧告受診率は、眼科、歯科が低い傾向にある。 ・う歯について、ほとんどの生徒は無し又は治療済みとなっている。 ・少数の生徒が複数未治療を抱えている。 <p>(1年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学校の基本的生活習慣に達成感を持つことができている。 <p>(2年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間の減少について憂慮する。 <p>(3年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休まずに学校に登校する意識は向上してきている。 ・自己管理に関してはさらなる改善を求めていく。

<p>イ</p>	<p>学習における基礎基本の定着と主体的な学習活動の推進。</p>	<p>授業で力が付いたと感じる生徒90%以上 授業において基礎基本を大切にし、深い学びをつくりたいと感じる教員90%以上 (教務・総合・工業・教科)</p> <p>週5日以上、家庭学習をする生徒の割合60%以上 (教務・教科)</p> <p>朝読書を通して読書の魅力や楽しさを実感できた生徒70%以上 (図書)</p>	<p>授業で力が付いたと感じる生徒90.7% 授業において基礎基本を大切にし、深い学びをつくりたいと感じる教員86.4%</p> <p>週5日以上、家庭学習をする生徒の割合28.6%</p> <p>朝読書を通して読書の魅力や楽しさを実感できた生徒63.2%</p>	<p>(教務) ・教員は、生徒の実態に合わせて基礎基本を重視した指導方法を工夫している。</p> <p>(図書) ・朝読書では86.3%の生徒が前向きに読書に取り組むことができた。そのうち47.7%の生徒が、自身の読書に対する前向きな変化を感じられた。 ・朝読書中の生徒の様子を観察していると、全く取り組まない生徒も多く見られる。 ・朝読書が本当に必要で効果的なのかを検討する時期になっているかもしれない。</p> <p>B (工業) ・課題研究では、難しい研究テーマに協力して取り組む姿がみられた。 ・学力の格差が大きい集団の学年があり、きめ細かい指導が必要とされる。</p> <p>(総合) ・生徒のアンケート結果では、教員の丁寧な細かな指導の実践と、生徒の頑張りがあることが伺える。 ・基礎基本が定着していない生徒への指導が課題と考える。 ・今後も基礎基本の定着が十分でない生徒が対象となることが予想されている。 ・総合学科の特色である多様な科目があることを活かした教科横断的な授業づくりが課題である。</p>
<p>ウ</p>	<p>人権意識の涵養に努め、思いやりのある豊かな心を育む。</p>	<p>外部支援員との連携を行い、迅速かつ組織的な対応 アンケート内容を分析し、適切な指導につなげる (相談室)</p> <p>人権意識を持って教育活動を行っている教員100%</p>	<p>外部支援員との連携を行い、迅速かつ組織的な対応ができた。 アンケート内容により適切な指導につなげることができた。</p> <p>人権意識を持って教育活動を行っている教員86.3%で、おおむね達成できた。</p>	<p>A (相談室) ・生徒本人の気持ちを尊重し、困り感を軽減する方向に導くように努めることができた。 ・限られた時間の中で全ての生徒に目を配ることは困難を感じた。 ・当事者だけでなく周囲の状況を全体的に捉え指導に活かすことができた。</p> <p>(1年部) ・想像力ある人になるよう職員で連携</p>

		<p>人権を意識して他者と接するようにしている生徒90%以上 (学年・全教職員)</p>	<p>人権を意識して他者と接するようにしている生徒94.5%で達成できた。</p>	<p>してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の生徒への浸透については、まだ不十分であり今後も継続的な指導が必要だと感じる。 <p>(2年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声を掛け合っている様子が見られる。相手の気持ちを考えて行動することができている。 <p>(3年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立ってお互いを認められる雰囲気づくりを職員間で連携してきた。 ・挨拶や公共の場として環境を整えるといった点において他者を意識して行動することができた。 ・お互いを認め合うという点では、継続的な指導が必要だと感じている。
<p>エ</p>	<p>個に応じたきめ細かな指導を充実させ、適切な進路の実現。</p>	<p>学校は進路実現に向けて、きめ細やかな進路指導を行っている と答える生徒、保護者85%以上 「産業社会と人間」「未来伊豆探究」「キャリア設計」における外部連携授業の複数回実施 商工会、法人会との連携を複数回実施 就職希望内定100% 国公立大学進学複数名、進学未定者ゼロ、公務員試験合格者輩出 (進路・工業・総合・学年)</p> <p>検定試験や資格取得のための学習を通して学びが深まった生徒85%以上 (教科)</p>	<p>学校は進路実現に向けて、きめ細やかな進路指導を行っている と答える生徒、保護者88.9%で達成できた。</p> <p>外部連携授業の複数回実施ができた。 商工会、法人会との連携を複数回実施した。 国公立大学進学2名 就職希望未定者2名 進学希望者未定者3名</p> <p>検定試験や資格取得のための学習を通して学びが深まった生徒66.0%で、概ね達成できた。</p>	<p>(進路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で大学・専門学校や企業の方を招いての進路ガイダンスを充実させることで生徒の進路意識の醸成を促せた。 ・3年生については、生徒1人ひとりに個別指導の担当教員が付き、進学・就職ともに志望理由や面接等の指導をきめ細やかに行った。それが高い進路決定率につながった。 <p>(工業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア設計では、インターンシップとの連携により、産業界での実体験をもとに、学びを深めることができた。 <p>(総合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業や伊豆市役所と連携を行った。 ・次年度はより連携を深める取り組みを企画している。 <p>(1年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業科生徒は放課後の補習やお互いに教えあう姿が見られた。 ・総合学科生徒の検定や資格取得に対

様式第3号

					<p>しての支援を考える必要がある。</p> <p>(2年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部連携に関して、学びの状況に合わせて、適度を実施することができた。そこから生徒の学びにつなげることができた。 <p>(3年部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が将来を見越した進路実現ができた。保護者とも連携し、ほとんどの生徒が納得のいく進路を実現することができた。
才	<p>地元自治体、学校、企業、地域等との連携を深め、開かれた学校づくりの推進。</p>	<p>外部との連携授業を通して学びが深まったと感じる生徒85%以上 学校は様々な教育活動において、積極的に自治体や学校、企業、地域等との連携をしていると感じる保護者85%以上 (工業・総合)</p> <p>P T A活動を理解し協力している保護者70%以上 (総務)</p> <p>行事終了後、学校HPを更新する 学校公式SNSを月10件以上投稿する (総務・全教員)</p>	<p>外部との連携授業を通して学びが深まったと感じる生徒88.5%、保護者94.9%で、地域等との連携は達成できており地域から応援を頂いている。</p> <p>P T A活動を理解し協力している保護者76.9%で、多くの保護者に協力を頂いている。</p> <p>行事終了後、学校HPや公式SNSにより月10件以上情報発信している。</p>	A	<p>(総務)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、P T A、伊豆市、消防署との連携を図り、より良い学校行事の構築に努めていきたい。 <p>(工業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所見学を実施し、工業を学ぶ意義を学校の授業とは異なる観点でとらえることができた。 修善寺駅でのイベントに、ものづくりで連携できた。 静岡理科大学と出前授業について自動車が支える自動車産業の現状について学びを深めることができた。 ミニ四駆の製作および改良を通じて、自動車の構造と走行理論について理解を深めることができた。 ものづくりに対して興味を高めることができた。
力	<p>各学科の教育内容の改善を通して、特色ある教育の一層の推進。</p>	<p>ジオパーク学習に満足している生徒85%以上 (学年)</p> <p>工業科目の授業を通して、ものづくりに興味・関心を持ち、専門的な知識技能が身に付いたと感じる生徒85%以上 (工業)</p> <p>「産業社会と人間」、「未</p>	<p>ジオパーク学習に満足している生徒88.5%と満足している。</p> <p>工業科目の授業を通して、ものづくりに興味・関心を持ち、専門的な知識技能が身に付いたと感じる生徒95%で達成している。</p>	A	<p>(教務)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内研修については次年度も校内授業見学週間を実施し、教員のスキルアップに繋がるようにしたい。 <p>(進路)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路課は、アドバンスクラスに対して特別な指導は行わなかった。 <p>(工業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習科目に積極的に取り組む生徒が多く、技術・技能習得への意欲を感じ

		<p>来伊豆探究」の授業を通して、進路意識や地域への理解が深まり、将来社会で必要とされる能力が身に付いたと感じる生徒85%以上 (総合)</p> <p>アドバンスクラスを主体とした探究学習や個別指導を実施し、該当生徒の満足度90%以上 (進路・総合)</p> <p>校内研修や公開授業週間を通してスキルアップに繋がったと感じる教員80%以上 (研修)</p> <p>I C T機器を活用した授業を実践している教員80%以上 (教科・教務)</p>	<p>「産業社会と人間」、「未来伊豆探究」の授業を通して、進路意識や地域への理解が深まり、将来社会で必要とされる能力が身に付いたと感じる生徒92.9%で達成している。</p> <p>アドバンスクラスを主体とした探究学習や個別指導を実施し、該当生徒の満足度80.4%で概ね達成している。</p> <p>校内研修や公開授業週間を通してスキルアップに繋がったと感じる教員86.4%</p> <p>I C T機器を活用した授業を実践している教員77.3%で、概ね達成している。</p>		<p>た。</p> <p>(総合)</p> <p>「産業社会と人間」「未来図探究」のアンケートでは、進路意識や地域への理解が深まり、将来社会で必要とされる能力が身に付いたと感じる回答が90%以上を維持しており、目標に即した授業が行われていると考える。</p> <p>・アドバンスクラスの満足度のアンケートは減少しており、今後の課題となる。</p>
キ	<p>防災教育・環境教育・社会貢献活動の推進及び教育環境の整備・充実。</p>	<p>避難訓練等の防災教育は、災害発生時に必要だと感じる生徒85%以上 清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒85%以上 (総務・保健)</p> <p>危険個所の早期発見・早期対応により、施設・設備の不備による事故発生0件 設備及び備品の有効活用 (事務)</p> <p>校外外の社会貢献活動(ボランティア活動)に、自主的に取り組んだ生徒70%以上 (生徒)</p>	<p>避難訓練等の防災教育は、災害発生時に必要だと感じる生徒98.3%で、ほとんどの生徒が真剣に取り組んでいる。</p> <p>清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒97.8%で、校内美化にほとんどの生徒が取り組んでいる。</p> <p>危険個所の早期発見・早期対応により、施設・設備の不備による事故発生0件で、設備及び備品の有効活用を行っている。</p> <p>校外外の社会貢献活</p>	A	<p>(生徒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動へ積極的に参加しようとする意欲は継続している。 ・今後も生徒が主体となり社会性の向上に努めていけるような工夫を考えていきたい。 ・地域の団体や特別支援学校との連携ができています。本校の活動が地域にも浸透していると感じる。 ・今後も連携の方法や内容の工夫を検討していきたい。 <p>(総務)</p> <p>昨年度よりも、防災教育が必要と自覚している生徒が増えており、堅実に企画運営した取り組みの成果である。</p> <p>(保健)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掃除については、定着し校内美化に努めることができた。 ・清掃用具の管理点検は、今後も継続

様式第3号

			<p>動（ボランティア活動）に、自主的に取り組んだ生徒51.6%であるが、社会貢献活動の機会を継続して提供している。</p>		<p>して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数の減少により清掃場所分担について継続しての改善が必要と考える。 <p>（事務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる生徒定員減に伴い、経営予算の減少がさらに進むため、設備ごとの点検調整を、今まで以上の計画的執行が求められる。
ク	<p>業務の効率化、適正化による、生徒と向き合う時間と教職員の心理的安全性の確保。</p>	<p>自身が関係する業務において、精選と効率化が図れたと感じる教員80%以上</p> <p>生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員80%以上 （全職員・管理職）</p> <p>職場の風通しが良く、心理的安全性が確保されていると感じる教員80%以上 （全職員・管理職）</p>	<p>自身が関係する業務において、精選と効率化が図れたと感じる教員95.5%で、ICT活用の効果が出てきている。</p> <p>生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員72.7%で多忙感の改善を継続しておこなう必要がある。</p> <p>職場の風通しが良く、心理的安全性が確保されていると感じる教員86.4%で、概ね達成されている。</p>	A	<p>（全職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導や生徒指導に十分な時間と労力を振り向けることができるように、体制を整えてもらいたいと考える。 <p>（管理職）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の定員が減少していくことにより幅広い業務が求められている。 ・従来と同様の業務から本当に必要な業務へと精選していく必要があり、ICTを活用しながら業務の精選を継続して行っていきたい。